

### 第3回 健康寿命をのばそう！アワード（生活習慣病予防分野）

企業・団体・自治体等の名称：岡山県総社市

取組・活動名：「健康インセンティブで市民・地域の力を引き出す“これがそうじゃ流”」

取組アクション： 適度な運動  適切な食生活  禁煙  健診・検診受診  その他

プロジェクトウェブサイトURL：<https://ja-jp.facebook.com/sojahokenfukushi>

#### 取組・事業の概要と特徴：4つの健康インセンティブで、健康と財政健全化への先行投資！

第1「国保健康で1万円キャッシュバック」は特定健診を受診し、保険診療を1年間受けなかった世帯に1万円を支給する全国初の取組。第2「そうじゃ健康マイポイント」は、20歳以上の市民に健（検）診受診や健康づくり事業への参加等により得られるポイントを3つ集めると、賞品がもらえる抽選に参加できるゲーム的要素を取り入れた取組。第3「そうじゃ！ヘルシーメニュー」は市内飲食店がヘルシーメニューを開発し、認定を受け、これを提供することで「食」を通じた健康意識を啓発する取組。第4「そうじゃ！ノンスモーキングプログラム」は、禁煙外来治療費助成等を行う取組。

#### 市民、地元産業及び大学等の連携で地域の力が引き出された！

「国保健康で1万円キャッシュバック」は「日本再興戦略（改訂2014）」に関連した先進事例として紹介され、本事業が呼び水となり、様々な健康政策が立案されるとともに国保財政健全化が進んだ。本市の国民健康保険特別会計は、平成23年度を除き、単年度実質収支が赤字続きだったが、インセンティブで医療費適正化をPRしたことが一因となり、平成25年度は、約400万円の黒字に転じた。「そうじゃ健康マイポイント」では、愛育委員等が金融機関や小売店等に自発的に出向き、広く参加を呼びかけるなど市民主導の動きが起きている。市民や他自治体からの問い合わせも多く、特定健診やがん検診の予約が前年度より早いペースでうまり、集団特定健診受診者数は年度途中であるが、既に昨年度の受診者数を超えた。また、健康に関心のない層であった新規受診者も増加するなどの効果が表れている。また、「そうじゃ！ヘルシーメニュー」では、認定を申請したいと飲食店からの問い合わせもあり、制度開始から毎月欠かさず認定メニューが生まれており、テレビのニュースにも採り上げられた効果で、各店でその売上が伸びている。「そうじゃ！ノンスモーキングプログラム」は今年度本格的に開始。受動喫煙防止対策として総社市直営の全公共施設で月・火曜日を「市内ノンスモーキングデー」とし全面禁煙や公用車内の全面禁煙を行い、まず、市役所職員がモデルとなって市民に発信。喫煙の禁止や分煙だけを進めるのでは、市民の理解も得にくいと考え、禁煙外来を実施している医療機関で禁煙治療を受ける市民（禁煙に向けて努力する市民）に対し、治療費の一部を助成する取組を行っている。こうした取組を受け、地域医師会と岡山県立大学が連携し、特定健診受診者等を対象に糖尿病相談室を実施。さらに、今年度9月からはレセプトデータを活用した糖尿病性腎症重症化予防プログラム事業を開始。人工透析者1人を防げば、医療費年間500万円の削減ができることから、新規透析導入患者数ゼロをめざしている。

#### 「自分たちで考え、自分たちで実行していくまち～自立できる総社市～」として健康寿命の延伸と医療費適正化先進都市を実現する！

一連の施策中、最も早く打ち出した「国保健康で1万円キャッシュバック」も開始は昨年9月であり、本市の取組はまだ始まったばかり。正直、成果を評価するには時期尚早といえる。しかし、市内外からの注目度は高く、市民や地域に行動や関心の変化が現れている空気が感じられる。

住民にとって最も身近で重要な課題である「健康」においてすら、市民や地域の力を引き出せなければ、今後の社会保障に不可欠な「自助・共助」を他分野で高めることは到底不可能。今回のインセンティブ策は、行政に過度に頼らず自らの責任と地域の力で助け合うまちを実現する橋頭堡、地方都市がインセンティブで市民や地域にムーブメントを起こせるかという挑戦である。

#### 取組・事業の概要がわかる写真や図：

○そうじゃ健康マイポイント推進団体・推進員任命式

